

組合支援 ウォッチ

国産木材住宅の良さを伝える！ ～「MOTWOOD展示場」完成～

かつては炭鉱で栄えた筑豊地区。山に囲まれ、水や地の恵みが多くある場所です。かつては林業も盛んで、今でも多くの杉林がありますが、山は荒れつつあります。

そんな中、筑豊地区木材協同組合（荒木光子理事長）では、木材業界復活の足掛かりとして、「MOTWOOD（もっとウッド）展示場」を完成させ、内覧会が盛大に開催されました。

【MOTWOOD（もっとウッド）プロジェクトとは】

本組合では、“もっと、国産木材（ウッド）住宅の良さを伝え、地元産木材の利用拡大を目指す”ために、「MOTWOODプロジェクト」を昨年11月に立ち上げました。

当プロジェクトでは、国産木材住宅のファンを増やそうと様々な事業に取り組んでおり、この「MOTWOOD展示場」は、当プロジェクトの主要事業として建築家やデザイナーと組んで作られました。

【幼稚園児による歌や演奏の披露】

当日の1月15日は快晴に恵まれ、組合役員・組合員をはじめ地元選出の政治関係者、行政、支援機関、マスコミ等の多数が詰めかけ、創意工夫したイベントも同時開催されました。今回、中央会筑豊支所も来賓としてお招きいただきました。

組合事務所の隣には、桜ヶ丘幼稚園があります。内覧会に先立ち、オープニングイベントとして、可愛い幼稚園児たちより歌や演奏が披露され、完成を祝ってくれました。その披露のお返しとして、園児たちへの紅白の餅投げ大会も行なわれ、手を挙げてつかみ取ったり拾い上げたり、そこら中に元気な声が響きわたり大きな賑わいとなりました。

「木のぬくもりを将来の日本を支える子どもたちにも是非感じてほしい」との荒木理事長の優しい思いが形となって表れたイベントです。

【内覧会】

オープニングイベントの後、幼稚園児も交え、内覧会が行われました。

展示場は、2階建て組合事務所の1階の1角約120平方メートルを大改修し、キッズルーム、



イベントには桜ヶ丘幼稚園の園児にも参加してもらいました。

カウンターキッチン、木製テーブルを連ねたスタジオが設けられました。特にメインの多目的スペースは、コンクリート張りの土間に杉材を配した壁面や天井を対比させた見事なアンティークなデザインとなっており、おしゃれなカフェカウンターも備えられるなど、色々な打ち合わせをはじめ木を使ったワークショップや会合への貸し出しなどを想定した「つくり」となっています。

「人の集まりや木の情報発信の拠点として、多くの人に利用してほしい」と荒木理事長は話されていました。



内覧会で多目的スペースを案内する荒木理事長（中央）

【記念式典・研修会】

内覧会のあとはうって変わって厳かな雰囲気の中、記念式典が引き続き行われ、組合のこれまで歩んできた歴史が映像により紹介されるとともに、多くの方々から熱いお祝いの言葉が述べられました。



荒木理事長の主催者挨拶

式典後の研修会では、税理士の権藤説子先生を講師に迎え、「事業承継」をテーマに、国の施策や事例を踏まえて、円滑に承継を進めるためのポイントについて講話がなされました。

後継者不在を第一の理由とする廃業が中小企業においては増えており、本組合においても喫緊の課題であることを受けて、中央会筑豊支所とのコラボ企画としてこの研修会は実施されました。

【組合のこれから】

本組合は、昭和28年に「炭都木材協同組合」としてスタートした後、昭和43年に現名称に改称しました。しかし、相次ぐ炭鉱閉山と昭和50年代後半からの建築戸数の激減と建築様式の変貌は木材業界に多大な影響を及ぼし、長く苦しい低迷期を余儀なくされ、組合員数も減少の一途を辿ってきました。

しかし、このような厳しい環境の中だからこそ『受け継がれる木材魂を糧に新たな一步を!』との荒木理事長の強い思いに組合役員及び組合員が突き動かされることとなり、それが今回の「MOTWOODプロジェクト」となって結実しました。

今後は、関係機関との連携を更に強化し、当プロジェクトを「筑豊発のブランド」にまで昇華させるべく、中央会筑豊支所としても積極的に支援してまいります。

なお、展示場を見学したい、会合等に利用してみたいと希望される方は、お気軽に組合までお問い合わせ下さい。

組合プロフィール

組 合 名：筑豊地区木材協同組合
理 事 長：荒木光子
組合員数：52名
住 所：飯塚市菰田東2丁目4番48号
T E L：0948-22-1175
F A X：0948-23-0275
U R L：http://www.motwood.jp/